

晃の園だより

発行 / 特別養護老人ホーム晃の園（偶数月発行）

<http://www1.ocn.ne.jp/~suruga/hikari/>

晃の園の春だより

梅、桃、桜。花々のカウントダウンと共に今年もここ富沢に春がきました。でも毎年変化する気候に花達も少し戸惑い気味の様子。花を咲かせるタイミングも皆で相談しながら決めているのかもしれません。

晃の園でも今年は清響棟の奥にある桜から先に咲き始めました。ここの桜たちは清響棟の増設と時を同じくして植樹されたものです。引っ越してきた当初はまだ根っこも土に馴染む間もなく、少しの花を咲かせるのが精一杯でした。でもそれから5年、根は四方に伸びて土にも馴染み、幹は確実に力をつけ枝も四方に伸びました。今や春には沢山の花を咲かせることが出来るようになりました。

もしかしたら桜の木はそんな自分たちの成長に気づいていないのかもしれませんが。けれども毎年確実に増え続ける花の数は彼らの成長の確実な証です。野山に花を咲かせましょう！ね、晃の園の職員さん！

普段の生活の中で

外出でもなく特別なイベントでもない・・・、普段の生活の風景です。こういった普段の生活の中での入居者の笑顔こそが、とても大事なものに思えます。



バレンタインデーの日、食堂で入居者が協力してチョコクッキーを作ってくださいました。焼きたての温かくて甘いクッキーは皆でいただきました。



育てている唐辛子が少しずつ赤い実をつけだしました。寒さをものともせず育つその健気さに感謝しながら「もっと育てよ～！」と笑顔の声援です。



2月3日の節分の日に入居者様と一緒に恵方巻き作りを楽しみました。皆さんとても慣れた手つきです。普通の生活の中で身につけた熟練の技ですね。



節分の日に見えたやさしい鬼さんを囲み「ヒイラギを玄関先に飾って」など節分のお話で盛り上がりました。皆大声で笑って無病息災を願いました。



皆で作った牛乳寒天は口当たりもよく、果物も沢山。スプーンですくった寒天が、ふるふると口に入れる前から美味しそうな揺れ方をしていました。



目の前で調理してすぐに食べられるのが囲炉裏の魅力。でも皆が集まり火を囲み、話をしながら盛り上がるというのが実は一番の魅力だったりします。



介護報酬が改定されました



平成21年4月1日に介護保険の介護報酬体系が改定されました。今回の改定には、職員数や有資格者を手厚く配置している事業所を高く評価する内容が盛り込まれています。既存の体制でこれに該当する晃の園でも、皆様より頂戴している利用料金を若干の増額とさせていただきます運びとなりました。大切な介護報酬を有効に活用し、より質の高い介護を継続的に提供できるようこれからも努力してまいります。

ここに掲載した写真や記事は、晃の園ホームページ上の掲示板「旬のネタ」から抜粋したものです。掲示板「旬のネタ」には現場からのニュースが随時掲載されています。ここに掲載しきれなかったニュースや話題もたくさんありますので、よろしければご覧ください。晃の園ホームページには「晃の園」で検索するか次のアドレスからアクセスしてください。

<http://www1.ocn.ne.jp/~suruga/hikari/>

子供たちからの温かい贈り物

今年も車いすを寄附していただきました

先日、同じ地域にある清沢小学校の皆さんが来園され、車椅子を寄贈してくださいました。小学校の生徒さんたちが中心となってアルミ缶など資源ゴミを回収し、お金に替えて買ってくれた車椅子です。

温かい心のこもった、とても嬉しい贈り物です。代表の生徒さんから入居者様へ、ピカピカの車椅子が贈られました。



他にも嬉しいプレゼントが

素敵なお合唱のプレゼントもいただきました。有名な曲をメドレーにして歌って下さったので一緒に口ずさんでいる入居者様も多くいらっしゃいました。真剣な表情で唄う子供達はとても素敵でした。



園からのお返しは体験会

車椅子と福祉車両の体験コーナーを楽しんでもらいました。車椅子に座ったり、後ろから手伝ったりという実体験を通して、車椅子に対する理解が少しでも高まればと思います。



ここ数年、こういった心温まる企画を継続してくださっている清沢小学校のみなさん。その溢れる元気な姿と優しさに入居者様も活力を頂き、本当に感謝の気持ちでいっぱいです。

今回のご寄贈にあたり、生徒のみなさん、先生方、そして資源回収にご協力下さいました地域の皆様に、深くお礼申し上げます。ご寄付頂いた車椅子は大切に使用させていただきます。

季節感のあるおもてなし



まだ冬の寒気が残る外から帰ってくると玄関には梅の香りが。一足早い春の訪れを感じます。

廊下の片隅に自然と活けられている花たちを見ると季節の移り変わりがわかります。もうすぐ春、花々が美しく咲き誇る季節の到来です。少し前まではお正月の飾り物が置いてあった場所に活けられた綺麗な桃色の花々が早めの春を運んでくれました。「もう春なのねえ」と鮮やかな花を見て季節の移り変わりを感じ笑顔をごぼされる利用者様。花を活けた職員もつられて笑顔になりました。



実習を受け入れることで学びます

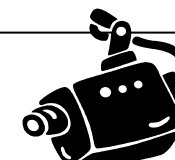


晃の園はユニットケアを有効に実践する施設として認められ、静岡県内で唯一のユニットリーダー研修の実習施設として認定されています。

一年を通して多くの研修の方を受け入れて行なわれる交流。程よい緊張感の中、私たちも自分たちの仕事を再確認でき、他施設の話も聞ける良い機会にもなっています。実習生を受け入れることで私たちもまた多くのことを学ばせていただいています。



主役は靴、されどテレビの取材



NHK番組の情報コーナーでとある靴が紹介されることになり、その取材場所として晃の園が選ばれました。

靴が主役とはいえテレビの撮影、緊張しないはずがありません。モデルとなった職員さんは大きなカメラに睨まれ緊張の連続、とても大変そうでした。本人曰く「同じシーンを何度も撮ったけど、何故か一番緊張しているのが放送で使われていました」だそうです。

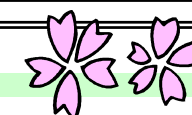
春の 新人職員



4月から一緒に働く仲間です。さわやかな春の陽気の下、新しいスタートに胸をときめかせる彼らの今後の活躍に期待したいものです。よろしくお願いします。



晃の園ショートステイからのお知らせ



晃の園ショートステイでは、送迎時に介護職員がご家族と直接話しをしたり、連絡帳を有効に活用したりすることで、ご家庭との連携を深める取り組みをしています。ご家庭からいただいた情報は会議を通して各職員が共有し、よりよい援助に向けた検討を行っています。昨年利用者様を対象に実施したアンケートでは、お互いの情報のやりとりに「大変満足」「やや満足」という人が8割を超えました(回答率57%)。今後も取り組みを継続し、皆様にご満足いただけるサービスの提供を目指していきます。